

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 5年 8月15日
11時24分21秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233010 健康推進課健康推進係

事務事業 02633 広域二次医療事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	001	1健康・医療		
施策の方針	005	地域医療体制の充実		
事務事業	001	広域二次医療事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	地域住民の休日・夜間における入院治療を必要とする重症患者の医療確保を図ることを目的として、衣浦西尾広域二次救急医療圏（碧南市・刈谷市・安城市・西尾市・知立市・高浜市）の救急医療を円滑に推進するため、地域内の病院群輪番制病院の運営に対する費用を負担します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	9,535	9,529	9,577
事業費	8,875	8,869	8,917
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	8,875	8,869	8,917
人件費計	660	660	660
正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	令和 3年度 負担金の支払い	令和 4年度 負担金の支払い	令和 5年度 負担金の支払い
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和 5年 8月15日
11時24分21秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02633 広域二次医療事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他の実施主体では実施していません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	二次救急医療圏の機能維持のために必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正に実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	一次救急医療機関の後方病院の位置づけとして、地域の重症患者を受け入れていますが、引き続き広域的に二次救急医療体制の救急機能を確保し、市民がかかりつけ医を持ち、救急の場合に適切な受診先を選択ができるよう、地域医療の推進を図ります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233010 健康推進課健康推進係

事務事業 02634 医療環境整備補助事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	001	1健康・医療		
施策の方針	005	地域医療体制の充実		
事務事業	002	医療環境整備補助事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	救急医療事業補助金交付要綱、高度医療機器等整備補助金交付要綱、看護師養成補助金交付要綱ほか			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・更生病院・八千代病院救急医療補助事業 ・高度医療機器等整備補助事業 ・看護師養成補助事業			

【事業分析】

対象	将来にわたり市民が
目的	質の高い地域医療サービスの提供を受けられるようになります。
手段	地域医療体制の充実に資するため、第2次・第3次救急医療の運営や高度医療機器購入、安城更生病院新棟建設補助事業、看護師養成事業に要する経費に対し、補助金を交付します。
事務内容	地域医療環境の整備をすることを目的に、補助金を交付します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	322,015	571,337	550,820
事業費	320,695	570,017	549,500
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	320,695	570,017	549,500
人件費計	1,320	1,320	1,320
正規（人）	0.20	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	補助金の交付 ・救急医療事業補助金 （安城更生病院・八千代病院） ・高度医療機器整備事業補助金（安城更生病院・八千代病院） ・看護師養成事業補助金（安城市医師会）	補助金の交付 ・救急医療事業補助金 （安城更生病院・八千代病院） ・高度医療機器整備事業補助金（安城更生病院・八千代病院） ・安城更生病院新棟建築工事補助金 ・看護師養成事業補助金（安城市医師会）	補助金の交付 ・救急医療事業補助金 （安城更生病院・八千代病院） ・高度医療機器整備事業補助金（安城更生病院・八千代病院） ・安城更生病院新棟建築工事補助金 ・看護師養成事業補助金（安城市医師会）

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 5年 8月15日
11時24分21秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02634 医療環境整備補助事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
碧海看護専門学校卒業生徒数	人	35.00	35.00	35.00
		34.00	38.00	0.00
看護師国家試験合格率	%	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他の実施主体では実施していません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民ニーズは高いと思われます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標通りの進捗です。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正に実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	救急医療事業については、救急患者受け入れ体制整備により、救急患者を受け入れることができています。安城更生病院新棟建設補助事業、高度医療機器等整備事業については、高度な医療体制整備及び高度医療機器の導入により、検査・手術時間の短縮や診断技術の向上につながり、救急医療体制がより一層充実し、市民へのサービス向上を図ることができています。 看護師養成事業については、看護専門学校において看護師を養成し、卒業生の看護師国家試験合格率は全国平均を上回っており、地域医療機関の看護師不足の解消に寄与することができています。 今後も地域医療体制の充実のため、事業効果を確認し、必要性を検証しながら取り組んで行く必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和 5年 8月15日
11時24分21秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233010 健康推進課健康推進係

事務事業 02635 保健衛生推進補助事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	001	1健康・医療		
施策の方針	002	健康づくりの機会の拡充		
事務事業	003	保健衛生推進補助事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市口腔衛生事業補助金交付要綱、食品衛生協会衛生活動事業補助金交付要綱			
備考				

【事業分析】

対象	市民が
目的	口腔衛生や食品衛生の向上により、健康で健やかな生活を送ることができるようになります。
手段	口腔衛生の推進を図るため一般社団法人安城市歯科医師会が行う活動と、食品衛生の推進を図るために愛知県食品衛生協会安城支部が行う活動に対し、補助金を交付します。
事務内容	口腔衛生事業補助金及び食品衛生協会衛生活動事業補助金を交付します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	2,267	2,626	3,020
事業費	1,607	1,966	2,360
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,607	1,966	2,360
人件費計	660	660	660
正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	補助金の交付 ・口腔衛生事業補助金 （安城市歯科医師会） ・衛生活動事業補助金 （愛知県食品衛生協会 安城支部）	補助金の交付 ・口腔衛生事業補助金 （安城市歯科医師会） ・衛生活動事業補助金 （愛知県食品衛生協会 安城支部）	補助金の交付 ・口腔衛生事業補助金 （安城市歯科医師会） ・衛生活動事業補助金 （愛知県食品衛生協会 安城支部）

事務事業評価シート（2/2）

6頁
令和 5年 8月15日
11時24分21秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02635 保健衛生推進補助事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
2歳児歯科健診とフッ化物塗布の開催回数	回	2.00	4.00	4.00
		2.00	4.00	0.00
食品衛生責任者講習会（再講習会・養成講習会）の開催回数	回	4.00	2.00	2.00
		1.00	3.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他の実施主体では実施していません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	口腔衛生、食品衛生ともに市民へのニーズがあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標通りの実施回数です。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正に実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	口腔衛生事業については、2歳児歯科健診及びフッ化物塗布を実施し、1.6歳児から3歳児歯科健診のフォローアップに寄与することができています。また、8020表彰によって、高齢者の健康づくりの励みとなり、健康寿命の延伸への効果が期待できます。 食品衛生協会衛生活動事業については、会員に対する講習会や夏季巡回の実施により、食中毒予防と食品衛生の知識普及につなげることができています。 今後も補助事業を実施し、事業効果を確認し、必要性を検証しながら取り組んでいくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
令和 5年 8月15日
11時24分21秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233010 健康推進課健康推進係

事務事業 02636 献血推進事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	001	1健康・医療		
施策の方針	001	1健康・医療その他		
事務事業	006	献血推進事業		
事業期間	昭和41年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安全な血液製剤の安定供給等の確保等に関する法律			
備考				

【事業分析】

対象	輸血を必要とする人が
目的	安全な血液を安定した供給で受けることができますようになります。
手段	安城市献血推進協議会が愛知県赤十字血液センターと協力して、市内の企業や団体での献血活動を推進し、円滑な輸血用血液の確保を図ります。
事務内容	献血の推進に関する事務を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	2,820	3,092	3,442
事業費	840	980	1,330
国庫支出金	0	0	0
県支出金	199	140	315
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	641	840	1,015
人件費計	1,980	2,112	2,112
正規（人）	0.30	0.32	0.32
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	献血予定会場 78会場 成人式、アンフォーレ 等にて啓発 骨髄提供者等助成事業 ドナー1人（実績） 事業所0人（実績）	献血予定会場 69会場 成人式、アンフォーレ 等にて啓発 骨髄提供者等助成事業 ドナー2人（実績） 事業所0人（実績）	献血予定会場 48会場 成人式、アンフォーレ 等にて啓発 骨髄提供者等助成事業 ドナー3人（見込み） 事業所3人（見込み）

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02636 献血推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
献血者数	人	2,610.00 3,186.00	2,464.00 2,530.00	2,496.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	赤十字センターと協力して事業を行っています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	輸血を必要とする患者にとって必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法に基づき実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<p>自然災害および高齢化に伴い、輸血の需要が拡大しており、輸血用血液の安定的な確保が必要です。また、全国的に献血者も高齢化しており、献血者数も減少傾向であることから、安定的な輸血用血液を確保が必要です。令和4年度は、コロナ感染拡大による影響がありましたが、目標値を達成することができました。引き続き、赤十字血液センターと協力しながら、特に若年層が献血に協力をいただけるよう、啓発活動を行っていきます。</p>

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	<p>本事業においては、2次評価を実施していません。</p>

事務事業評価シート（1/2）

9頁
令和 5年 8月15日
11時24分22秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233010 健康推進課健康推進係

事務事業 02637 休日夜間急病診療事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	001	1健康・医療		
施策の方針	005	地域医療体制の充実		
事務事業	003	休日夜間急病診療事業		
事業期間	昭和52年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市休日夜間急病診療所の設置及び管理に関する条例、規則			
備考				

【事業分析】

対象	急病の市民が
目的	休日及び夜間に応急診療（内科・小児科・歯科）が受けられるようになります。
手段	休日及び夜間に急病人が発生した場合、その応急診療を行うため、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力のもとに診療を行います。
事務内容	休日夜間急病診療所の管理運営を行います。 内科及び小児科の診療時間は、平日夜間（午後8時30分～午後10時）、土曜夜間（午後5時30分～午後9時30分）、休日及び年末年始（午前9時～正午、午後1時～午後5時、午後5時30分～午後9時30分）です。歯科の診療時間は、休日（午前9時～正午、午後1時～午後5時）です。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	84,085	93,462	94,828
事業費	80,257	89,502	90,868
国庫支出金	1,000	0	0
県支出金	1,143	100	0
地方債	0	0	0
その他	57,104	89,402	60,000
一般財源	21,010	0	30,868
人件費計	3,828	3,960	3,960
正規（人）	0.58	0.60	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	平日夜間診療：243日 土曜日診療：51日 休日診療：71日 （日曜・祝日・年末年始）	平日夜間診療：244日 土曜日診療：50日 休日診療：71日 （日曜・祝日・年末年始）	平日夜間診療：244日 土曜日診療：50日 休日診療：72日 （日曜・祝日・年末年始）

事務事業評価シート（2/2）

10 頁
令和 5年 8月15日
11時24分22秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02637 休日夜間急病診療事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
診療所開設日数（年間）	日	365.00	365.00	366.00
		365.00	365.00	0.00
受診者数	人	8,600.00	8,600.00	8,600.00
		4,498.00	9,099.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	医師会を通じて各医療機関の協力のもと、実施しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	一次救急医療機関として必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標どおりの進捗です。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正に実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	1次救急としての機能を果たしており、2次・3次救急病院への軽症患者の集中を防ぎ、市民の医療受診適正化に寄与しています。令和4年度はコロナ感染拡大により受診者数が令和3年度と比較して大幅に上回りました。1次救急としての役割を担うため、より一層市民への周知を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の対策だけでなく、インフルエンザ流行期等、繁忙期や感染症発生動向に応じて、円滑に対応できるよう体制の整備に取り組んでいく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート(1/2)

評価年度 令和4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233010 健康推進課健康推進係

事務事業 02638 保健センター施設管理事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目(施策)	001	1健康・医療		
施策の方針	001	1健康・医療その他		
事務事業	007	保健センター施設管理事業		
事業期間	昭和62年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	地域保健法、安城市保健センターの設置及び管理に関する条例、規則			
備考				

【事業分析】

対象	保健センター利用者が
目的	安全かつ快適にサービスを受けることができます。
手段	保健センターの利用者が、安全かつ快適にサービスを受けることができるよう、必要に応じて管理業務の外部委託をし、施設を適切に維持管理し、提供します。
事務内容	保健センターの管理運営を行います。

【コスト】

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	36,812	44,156	54,116
事業費	36,152	43,496	53,456
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	339	846	360
一般財源	35,813	42,650	53,096
人件費計	660	660	660
正規(人)	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none">・清掃業務委託・各種設備保守点検業務委託・駐車場賃貸借・必要に応じて修繕の実施	<ul style="list-style-type: none">・清掃業務委託・各種設備保守点検業務委託・駐車場賃貸借・必要に応じて修繕の実施	<ul style="list-style-type: none">・清掃業務委託・各種設備保守点検業務委託・駐車場賃貸借・必要に応じて修繕の実施

事務事業評価シート (2 / 2)

12 頁
令和 5 年 8 月 15 日
11 時 24 分 22 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02638 保健センター施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
事故件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
苦情件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法に基づく取り組みであって他の実施主体は実施していません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	地域保健に必要な事業を行っています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を達成しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正に実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成28年度に不具合箇所の修繕及びフロアの見直しを目的として、保健センターの大規模改修工事を行いました が、改修とは別に一部不具合の出ている箇所もあり、計画的な修繕管理等が必要です。事故や苦情はありません が、今後も、安全かつ快適にサービスが提供できるよう、必要に応じて管理業務の外部委託を行い、適切に管理 運営をしていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

13頁
令和 5年 8月15日
11時24分22秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233010 健康推進課健康推進係

事務事業 02639 防災医薬品供給事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	001	1.1 防災・減災			
施策の方針	002	災害時の対応・連携強化			
事務事業	002	防災医薬品供給事業			
事業期間	平成16年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	災害対策基本法、地域防災計画				
備考					

【事業分析】

対象	災害発生時における負傷者が
目的	市内各地区において迅速な手当てを受けることができます。
手段	災害時における救護体制の一部として市内5箇所の医療救護所（東山中学校・安城北中学校・安城南中学校・桜井中学校・明祥プラザ）に防災用備蓄医薬品を配置しています。
事務内容	期限切れの医薬品等の更新、薬品庫整備及び管理、医療救護訓練を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	4,588	2,572	4,182
事業費	1,222	1,384	2,994
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,222	1,384	2,994
人件費計	3,366	1,188	1,188
正規（人）	0.51	0.18	0.18
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	・期限切れの医薬品の発注30品目 ・追加品目の発注4品目 ・配置箇所の医薬品交換5箇所	・期限切れの医薬品の発注32品目 ・追加品目の発注1品目 ・配置箇所の医薬品交換5箇所	・期限切れの医薬品の発注30品目 ・追加品目の発注2品目 ・配置箇所の医薬品交換5箇所

事務事業評価シート (2 / 2)

14 頁
令和 5年 8月15日
11時24分22秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02639 防災医薬品供給事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
災害時の医薬品等設置率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他の実施主体では実施していません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	地域防災計画に則って実施しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標通り実施しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正に実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	災害対策基本法等に基づき実施している事業であり、災害発生時に、医療救護所において市民に迅速な手当てが提供できるように、引き続き適切に薬品庫の整備及び備蓄医薬品の管理を行う必要があります。令和4年度は、コロナの影響による医薬品等の供給不足により、入手困難な状況が続きました。今後も医薬品等の供給が不安定な状況が継続すると考えられます。そのため、医師会、歯科医師会、薬剤師会の意見や、他市の医薬品の備蓄状況等を参考にしながら、備蓄医薬品の整備や医療救護所の運営の見直しを図っていく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

15頁
令和 5年 8月15日
11時24分22秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233010 健康推進課健康推進係

事務事業 02640 健康づくり環境整備事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001	健康			
項目（施策）	001	1健康・医療			
施策の方針	002	健康づくりの機会の拡充			
事務事業	004	健康づくり環境整備事業			
事業期間	平成28年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	健康増進法、食育基本法				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・健康づくりボランティア養成・育成事業 ・健康づくり環境整備事業 ・健康づくりサポーター活動支援事業 ・あんじょう健康マイレージ事業				

【事業分析】

対象	市民一人一人が
目的	健康づくりに関心を持ち、自主的に健康づくりを始められるようになります。
手段	知りたくなる機会、参加したくなる機会の創出として健康づくりのきっかけとなるイベントを実施します。また、自主的な健康づくりをサポートする身近な存在を増やすため、食育メイト等の市民ボランティア等を養成、支援します。すぐに始めることができる健康づくりや健康づくり関連イベントへの参加にインセンティブを付けます。
事務内容	あんじょう健康マイレージ事業、健康づくり環境整備事業、健康づくりボランティア（食育メイト等）養成・育成事業、健康づくりサポーター活動支援事業を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	8,762	8,818	11,747
事業費	5,594	5,386	8,975
国庫支出金	0	0	0
県支出金	516	600	546
地方債	0	0	0
その他	21	20	32
一般財源	5,057	4,766	8,397
人件費計	3,168	3,432	2,772
正規（人）	0.48	0.52	0.42
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	・あんじょう健康マイレージ事業及び健康づくりきっかけ教室、あんじょう健康大学を実施。	・あんじょう健康マイレージ事業及び健康づくりきっかけ教室、あんじょう健康大学を実施。	・あんじょう健康マイレージ事業及び健康づくりきっかけ教室、あんじょう健康大学を実施。

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02640 健康づくり環境整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
あんじょう健康マイレージ事業ポイント達成者数	人	1,100.00 1,170.00	1,100.00 1,121.00	1,100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法に基づき実施しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	健康に対する市民の意識は高いと思われます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	健康マイレージのポイント達成者が目標に達しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正に実施しています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	<p>高齢化社会に伴い、医療や介護の費用負担が増大しています。健康を維持・増進するための健康づくりを、多くの市民に取り組んでもらうことは重要な課題です。そのため、若い頃から健康づくりに関心を持ち、取り組んでいくことが大切になります。</p> <p>あんじょう健康マイレージ事業では、令和 2 年度からスマートフォンアプリを活用することで、若い世代が参加しやすくなりました。引き続きアプリの活用を P R していきます。</p> <p>また、健康づくりきっかけ教室については、目的と対象者を明確にし、開催場所等の検討をすることで、今まで参加していなかった市民も参加しやすい教室にしていきます。</p>

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233015 健康推進課予防係

事務事業 02642 予防接種事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001	健康			
項目（施策）	001	1健康・医療			
施策の方針	001	1健康・医療その他			
事務事業	008	予防接種事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	予防接種法				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	予防接種を受けることにより、地域の各疾病の発生及び蔓延予防になるとともに個人の感染症予防となります。
手段	予防接種法に基づく、定期の予防接種と任意の予防接種を実施しています。 安城市医師会の協力のもとに、接種は個別接種にて実施しています。
事務内容	定期の予防接種（ロタウイルス、Hib、小児の肺炎球菌、ポリオ、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、四・三・二種混合、BCG、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス、水痘、高齢者のインフルエンザ、高齢者の肺炎球菌、B型肝炎、風しん5期）任意の予防接種は、一部費用助成の対象（子どもインフルエンザ、妊婦等に関わる風しん）

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	647,599	726,850	784,083
事業費	636,511	700,450	760,323
国庫支出金	12,934	7,592	9,827
県支出金	159	41,867	100
地方債	0	0	0
その他	0	14	1
一般財源	623,418	650,977	750,395
人件費計	11,088	26,400	23,760
正規（人）	1.68	4.00	3.60
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	定期予防接種 実施 任意予防接種費用助成 実施 成人の風しん抗体検査 及び予防接種 実施 (H31年度から3年間)	定期予防接種 実施 任意予防接種費用助成 実施 成人の風しん抗体検査 及び予防接種 実施 (R4年度から3年間延長) HPV予防接種積極的勧 奨再開	定期予防接種 実施 任意予防接種費用助成 実施 成人の風しん抗体検査 及び予防接種 実施 (R4年度から3年間延長) HPV予防接種積極的勧 奨再開

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 5 年 8 月 15 日
11 時 24 分 59 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001233015 健康推進課予防係
事務事業 02642 予防接種事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
M R (麻疹・風疹混合ワクチン) 2 期接種率	%	95.00 92.80	95.00 92.60	95.00 0.00
B C G 接種率	%	95.00 99.20	95.00 95.20	95.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国・県・民間等に同様のサービスはありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民ニーズは十分にあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を下回っていますが、ほぼ前年度同様で推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	外部委託やICT化等の検討を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体等と比較して適正です。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	<p>予防接種については、市内医療機関だけでなく、広く愛知県内の医療機関でも受けられるよう体制を整え、県外で受ける予防接種費用に対しても助成を行うことで、より接種しやすくなっています。</p> <p>予防接種法に基づく定期予防接種の接種率向上のため、乳幼児健診や就学前健診などの機会を活用し、引き続き接種動員をしていく必要があります。</p>

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	<p>本事業においては、2 次評価を実施していません。</p>

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 5年 8月15日
11時24分59秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233015 健康推進課予防係
事務事業 03174 新型コロナウイルスワクチン接種事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	001	1.1 防災・減災			
施策の方針	007	感染症対策			
事務事業	002	新型コロナウイルスワクチン接種事業			
事業期間	令和 2年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	予防接種法				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	予防接種を受けることにより、新型コロナウイルス感染症の発症を押さえ、重症化を防ぐことができます。
手段	予防接種法に基づく予防接種を行います。 安城市医師会の協力のもとに、市内医療機関が実施する個別接種、本市が実施する集団接種にて接種を行います。
事務内容	新型コロナウイルスワクチンの予防接種を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	1,175,383	710,857	43,560
事業費	1,135,123	664,657	0
国庫支出金	1,135,123	663,926	0
県支出金	0	532	0
地方債	0	0	0
その他	0	199	0
一般財源	0	0	0
人件費計	40,260	46,200	43,560
正規（人）	6.10	7.00	6.60
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	予防接種の実施（個別、集団）。ワクチンの保管、配送などの管理。接種券の発送スケジュール管理。HP、広報の管理。	予防接種の実施（個別、集団）。ワクチンの保管、配送などの管理。接種券の発送スケジュール管理。HP、広報の管理。	予防接種の実施（個別、集団）。ワクチンの保管、配送などの管理。接種券の発送スケジュール管理。HP、広報の管理。

事務事業評価シート (2 / 2)

4 頁
令和 5年 8月15日
11時24分59秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233015 健康推進課予防係
事務事業 03174 新型コロナウイルスワクチン接種事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
集団接種実施日数	日	43.00 67.00	26.00 46.00	4.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国・県・民間等に同様のサービスはありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	接種を必要とする方に円滑に接種する体制が必要となっています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標どおりの進捗です。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	入札による委託業者変更などを行い事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体等と比較して適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	新型コロナウイルスワクチン接種をより多くの市民に早く実施するために接種体制を整え、接種を希望する市民が円滑に接種を行うことができる体制を構築しました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 5年 8月15日
11時25分53秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233020 健康推進課健診係

事務事業 02643 健康診査事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001	健康			
項目（施策）	001	1健康・医療			
施策の方針	004	健康管理の支援			
事務事業	001	健康診査事業			
事業期間	昭和58年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法ほか 健診後相談事業は、令和3年度より健康診査事業と予算を統合しました。				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	各種健診を受診することでがん、心臓病、脳卒中など生活習慣病の早期発見をすることやがん検診をはじめとする各種検診受診後の精密検査を早期に受診することにより早期治療が受けられるようになります。また、健診を機会に生活習慣を改善することで生活習慣病を未然に防ぐことができ、自身の健康管理に役立てることができません。
手段	高齢者の医療確保に関する法律、健康増進法等に基づき特定健康診査及び各種がん検診、歯周病検診等を実施します。
事務内容	特定健康診査、後期高齢者健康診査、市民ドック、市民健康検診、胃（X線・内視鏡）・大腸・肺・前立腺・乳がん・子宮頸がん検診、脳ドック、歯周病検診、ヤング健診、肝炎ウイルス検診 骨粗しょう症検診、各種検診受診後の精密検査の受診勧奨の実施

【コスト】

（単位：千円）

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	600,228	614,986	670,513
事業費	585,708	601,324	656,851
国庫支出金	369	1,285	620
県支出金	10,718	12,498	12,702
地方債	0	0	0
その他	211,218	213,061	188,193
一般財源	363,403	374,480	455,336
人件費計	14,520	13,662	13,662
正規（人）	2.20	2.07	2.07
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	胃がん検診受診者数 （50～69歳） 3,638人 特定健診受診者数 11,510人 胃がん検診精密検査受診率（H31年度80.0%）	胃がん検診受診者数 （50～69歳） 3,589人 特定健診受診者数 11,262人 胃がん検診精密検査受診率（R2年度87.3%）	特定健診など各種健康診査の実施 各種がん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺）の実施、歯周病検診の実施、各種がん検診等受診後の精密検査の受診勧奨

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02643 健康診査事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
胃がん検診受診率	%	15.00	15.00	15.00
		10.50	10.30	0.00
特定健康診査受診率	%	50.00	60.00	60.00
		43.80	43.60	0.00
胃がん検診精密検査受診率 (n-2 年度の受診率)	%	90.00	90.00	90.00
		80.00	84.50	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法律に基づいて、市町村が行うものです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民の健康増進のために必要な事業です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	社会情勢により受診控えがありました。回復しつつあります。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	がん検診受診券を作成することで受診率向上につながっています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	国が示す指針に沿って実施しています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	新型コロナウイルス感染症の拡大により、健診 (検診) の受診を控える傾向がみられていましたが、少しずつ受診率の改善がみられています (特定健診 R2 42.8%、R3 43.8%、R4 43.6%)。がん検診においては、がん検診の受診券を作成することで、全年代の合計受診者数における各がん検診受診率が改善してきています (胃がん検診 0.3 ポイント、大腸がん検診 0.5 ポイント、肺がん検診 0.4 ポイント、乳がん検診 0.8 ポイント増加、子宮頸がん検診横ばい)。今後も引き続き、受診の必要性を啓発し受診勧奨をすることで、受診率の回復、向上に努めます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

3 頁
令和 5 年 8 月 15 日
11 時 25 分 53 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001233020 健康推進課健診係

事務事業 02645 生活習慣改善支援事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	001	健康			
項目 (施策)	001	1 健康・医療			
施策の方針	004	健康管理の支援			
事務事業	003	生活習慣改善支援事業			
事業期間	平成 20 年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法				
備考					

【事業分析】

対象	特定保健指導対象者 (内臓脂肪症候群・予備軍、肥満) が
目的	生活習慣を改善できるようになります。
手段	・ 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき愛知県 (安城市) 国保年金課から特定保健指導事業の執行委任を受け実施するとともに、健康増進法に基づき医療保険無加入者への保健指導事業を実施します。メタボリックシンドロームの予防及び解消のため、対象者に、市内の医療機関や保健センターで特定保健指導 (3 ~ 6 ヶ月間) を実施します。また、未利用者に対し利用勧奨を実施します。
事務内容	特定保健指導、特定保健指導未利用者勧奨、重症化予防受診勧奨

【コスト】

(単位 : 千円)

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	17,231	13,478	19,714
事業費	3,899	4,040	10,144
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	3,503	3,549	6,094
一般財源	396	491	4,050
人件費計	13,332	9,438	9,570
正規 (人)	2.02	1.43	1.45
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	特定保健指導開始者 186 人 未利用者勧奨 100%	特定保健指導開始者 158 人 未利用者勧奨 100%	特定保健指導 実施 未利用者勧奨 実施

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 5年 8月15日
11時25分53秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02645 生活習慣改善支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
特定保健指導開始率（指導開始者数 / 指導対象者数）	%	17.00 17.87	17.00 16.20	17.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク				
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1			
		理由	安城市国保としてサービスを行っています。				
		2	必要性		市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
					理由	市民の健康増進のために必要な事業です。	
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	2			
		理由	実施率が維持向上できるよう努めます。				
		4	効率性		事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
					理由	特定保健指導開始率の維持向上に向けて改善に努めていきます。	
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1			
		理由	他自治体との同程度のサービスを提供しています。				

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	特定保健指導における国の示す目標値（2023年60%）を達成するためには、利用を開始する人を増やすための工夫が必要となります。このため、決まった日程で実施する教室だけでなく、相手の状況に合わせ個別対応に積極的に取り組んでいます。利用勧奨について、次年度の健診に向け生活習慣の改善を図るような働きかけをするとともに、病態別のリーフレットと勧奨文に加え、地区担当保健師が利用勧奨を行うことを継続していきます。また、実施医療機関を増やせるよう、新規開業の医療機関には働きかけを行い、必要な人が受けやすい環境を整えるよう努めていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02646 妊産婦・乳児個別健診事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	005	こども			
項目 (施策)	001	1 7 子育て			
施策の方針	002	安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	008	妊産婦・乳児個別健診事業			
事業期間	平成 9 年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	結婚・出産・子育て
根拠法令等	母子保健法				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を分割・統合しています。 ・乳幼児健診事業 (分割) ・妊婦健診事業 (統合)				

【事業分析】

対象	妊産婦と乳児が
目的	健診を受け、健康に過ごすことができるようになります。
手段	医療機関や助産所で実施される妊婦健康診査 1 4 回分、子宮頸がん検診 1 回分、産婦健康診査 1 回分、新生児聴覚検査 1 回分、乳児健康診査 2 回分を限度額範囲内で助成します。多胎妊婦には、5 回分の妊婦健診受診票を追加交付しています。妊婦歯科健診及びブラッシング指導、産婦歯科健康診査ケアを各 1 回無料で受けられます。
事務内容	妊婦・産婦・乳児個別健診委託・助成、妊産婦歯科健診委託

【コスト】

(単位 : 千円)

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	208,221	195,735	226,329
事業費	203,997	193,095	223,689
国庫支出金	3,978	5,192	9,625
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	2	2	3
一般財源	200,017	187,901	214,061
人件費計	4,224	2,640	2,640
正規 (人)	0.64	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	妊婦健診 19,780 件 子宮頸がん検診 1,564 件 産婦健診 1,493 件 乳児健診 2,842 件 妊婦歯科健診 847 件 新生児聴覚検査 1,132 件 産婦歯科健診 653 件	妊婦健診 18,326 件 子宮頸がん検診 1,498 件 産婦健診 1,453 件 乳児健診 2,755 件 妊婦歯科健診 742 件 新生児聴覚検査 1,050 件 産婦歯科健診 627 件	妊婦健診 14 回 子宮頸がん検診 1 回 産婦健診 2 回 乳児健診 2 回 妊婦歯科健診 1 回 新生児聴覚検査 1 回 産婦歯科健診 1 回 多胎妊婦への妊婦健診受診票追加交付

事務事業評価シート（2/2）

6頁
令和 5年 8月15日
11時25分53秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02646 妊産婦・乳児個別健診事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
妊婦健診受診件数	件	24,000.00 21,344.00	24,000.00 19,824.00	20,400.00 0.00
妊婦歯科健診受診率	%	48.00 54.20	50.00 49.00	50.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法に基づいて市町村が行うものです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	妊娠、出産、出産後の母子の健康管理に必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	妊婦の数の減少に伴い、受診件数も減少しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	必要性の周知を図ることで必要な時期に利用されています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体と同程度のサービスを提供しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	妊婦の数が減少している影響もあり、妊婦健診の受診件数は減少しています。妊婦健診14回（多胎妊婦に対し5回分追加交付）、子宮頸がん検診1回、産婦健診1回、新生児聴覚検査1回、乳児健診2回、妊婦歯科健診1回、産婦歯科健診1回に加え、令和5年4月以降に妊娠届出をした者に、産婦健診を1回分追加して交付し費用助成していきます。妊娠、出産数が減少傾向にある中、経済的負担の軽減を図るとともに、妊婦が安心・安全に出産をし、産後も乳児と母が健康に過ごすことができるよう、引き続き、妊産婦・乳児健診の費用助成を継続していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

7 頁
令和 5年 8月15日
11時25分53秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001233020 健康推進課健診係

事務事業 02647 乳幼児集団健診事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	005	こども			
項目 (施策)	001	1 7 子育て			
施策の方針	002	安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	009	乳幼児集団健診事業			
事業期間	昭和62年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	母子保健法				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を分割・統合しています。 ・乳幼児健診事業 (分割) ・乳幼児健診事後指導事業 (統合)				

【事業分析】

対象	乳幼児とその保護者が
目的	異常の早期発見、育児不安の軽減、健康の保持増進ができるようになります。
手段	乳児期は 4 か月児健診 (股関節検診含む) を実施、幼児期は身体・精神発達の両面から重要な時期である 1 歳 6 か月児・3 歳児に対し、医師・歯科医師等による総合的な健診を実施しています。結果は保護者と確認し、育児不安を軽減・解消できるよう支援し、虐待予防にも努めています。健診後は発達段階に合わせ適切な支援を行います。集団健診では未受診者への受診勧奨と状況把握を行っています。
事務内容	4 か月児健診、1 歳 6 か月児健診、3 歳児健診、発達心理相談、2 歳の発達確認アンケート、う蝕予防啓発の個人通知

【コスト】

(単位 : 千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	53,616	53,309	57,371
事業費	30,978	31,661	34,073
国庫支出金	0	0	110
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	30,978	31,661	33,963
人件費計	22,638	21,648	23,298
正規 (人)	3.43	3.28	3.53
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	4 か月児健診実施 45 回 1,542 人 1 歳 6 か月児健診実施 45 回 1,600 人 3 歳児健診実施 46 回 1,705 人 2 歳アンケートの実施 473 人	4 か月児健診実施 42 回 1,426 人 1 歳 6 か月児健診実施 42 回 1,515 人 3 歳児健診実施 43 回 1,645 人 2 歳アンケートの実施 480 人	4 か月児健診実施 1 歳 6 か月児健診実施 3 歳児健診実施 2 歳アンケートの実施

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02647 乳幼児集団健診事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1 歳 6 か月児健診受診率	%	97.50 99.40	97.50 99.90	97.50 0.00
3 歳児健診受診率	%	97.00 99.60	97.00 100.70	97.00 0.00
2 歳時の状況確認率	%	97.00 98.50	97.00 97.10	97.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法律に基づいて市が実施しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	高い受診率を維持しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標に対し、受診率を維持しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	市民満足度向上のため、適宜実施手順の見直しを図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市の実施状況等を確認し、適宜取り入れています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	本事業は、母子保健法に基づく健診であり、100%の人が受診できるよう、継続して受診勧奨を行います。未受診の場合であっても、児を目視し状況把握に努めています。精神発達について継続した支援が必要な乳幼児とその保護者に対して、切れ目ない支援ができるよう、子ども発達支援センターと連携して支援を行います。また、あわせて保護者の育児不安が軽減できるよう、各専門職による相談を継続していきます。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために控えていた集団指導を再開し、より良い検診が提供できるよう努めます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9頁
令和 5年 8月15日
11時25分53秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233020 健康推進課健診係

事務事業 02648 不妊治療支援事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目（施策）	001	17子育て			
施策の方針	002	安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	010	不妊治療支援事業			
事業期間	平成18年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	結婚・出産・子育て
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	不妊治療等を受けている夫婦（同一世帯で事実上婚姻関係にある男女を含む）が
目的	治療費の経済的負担が軽減され、治療を受けやすくなります。
手段	不妊に悩んでいる夫婦（同一世帯で事実上婚姻関係にある男女を含む）に対し、経済的な負担を軽減するために、一般不妊治療費への助成を行っています。1夫婦1年度につき一般不妊治療・検査、人工受精に要した費用の自己負担額の2分の1（上限5万円）を助成します。
事務内容	不妊治療助成の実施、県費補助金申請（県から市に人工授精の自己負担額の2分の1（上限4万5千円）の補助）は、令和4年度より廃止。

【コスト】

（単位：千円）

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	13,676	8,648	10,735
事業費	11,564	7,922	10,009
国庫支出金	0	0	0
県支出金	1,692	145	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	9,872	7,777	10,009
人件費計	2,112	726	726
正規（人）	0.32	0.11	0.11
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	一般不妊治療助成申請 実施 352件	一般不妊治療助成申請 実施 276件	一般不妊治療助成申請 実施

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02648 不妊治療支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
一般不妊治療助成申請 件数	件	250.00 352.00	250.00 276.00	250.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	治療の一部が保険適用となり、県の助成制度が廃止となりました。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	社会的背景から市民ニーズは十分にあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	国や県の動向、市の申請状況を把握し事務改善に取り組みます。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体と同程度のサービスが提供できています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	事業は、少子化対策の一助として取り組んでいます。また、令和4年度から一部の治療費が保険適用となり、県の特定不妊治療の助成制度が廃止となりましたが、社会的背景から市民ニーズは高く、不妊治療の実態等を把握し、助成内容を検討する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 5年 8月15日
11時26分26秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233030 健康推進課保健指導係

事務事業 02649 健康知識普及事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001	健康			
項目（施策）	001	1健康・医療			
施策の方針	002	健康づくりの機会の拡充			
事務事業	001	健康知識普及事業			
事業期間	昭和58年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目	
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	健康増進法				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・健康知識普及事業 ・健康手帳交付事業				

【事業分析】

対象	市内に在住、在勤の成人が
目的	健康づくりに関する知識を得て、健康づくりの継続やきっかけが得られます。
手段	【親がお手本！デンタル・ケア教室】年長児保護者への歯科保健講話【まちかど講座】各種団体への健康教育【家族のためのこころホッと相談日】臨床心理士による家族などの相談【食生活改善普及事業】安城市食育健康づくりの会への委託【健康手帳交付事業】健康手帳の交付【カラダいきいき栄養相談】食生活についての相談
事務内容	親がお手本！デンタル・ケア教室、まちかど講座、家族のためのこころホッと相談日、食生活改善普及事業、健康手帳交付事業、カラダいきいき栄養相談、成人保健相談

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	24,135	25,789	27,460
事業費	3,345	4,075	5,878
国庫支出金	0	0	0
県支出金	260	456	715
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,085	3,619	5,163
人件費計	20,790	21,714	21,582
正規（人）	3.15	3.29	3.27
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	【デンタルケア】 0人 【まちかど講座】 301人 【食生活改善普及事業】 34回 【健康手帳交付】 166人	【デンタルケア】 1,273人 【まちかど講座】 655人 【食生活改善普及事業】 27回 【健康手帳交付】 84人	【デンタルケア】 1,300人 【まちかど講座】 800人 【食生活改善普及事業】 27回 【健康手帳交付】 50人

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 5 年 8 月 15 日
11 時 26 分 26 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02649 健康知識普及事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
食生活普及事業開催回数	回	27.00	27.00	27.00
		34.00	27.00	0.00
デンタルケア教室の保護者参加人数	人	1,200.00	1,200.00	1,300.00
		0.00	1,273.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市民が費用を懸念することなく利用できる場が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	正しい情報を得る場が必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	新型コロナウイルス感染症終息に伴い申し込みが増えてきています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	感染症拡大防止対策を取り入れた内容を実施できました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも実施されており、過不足はありません。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	成人期の生活習慣の改善に関する正しい情報を得る場や住民の様々なニーズに応えるため、引き続き、生活習慣病予防につながる知識の普及と個人の生活習慣の見直しができる機会を設けていきます。引き続き、感染症拡大防止対策を取り入れた安心・安全な教室等の運営を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001233030 健康推進課保健指導係

事務事業 02650 介護予防普及啓発事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	001	健康			
項目 (施策)	001	1 健康・医療			
施策の方針	002	健康づくりの機会の拡充			
事務事業	002	介護予防普及啓発事業			
事業期間	平成 29 年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法				
備考					

【事業分析】

対象	要介護状態にない 65 歳以上の市民が
目的	市民自らの健康の保持増進や身体機能の低下から「要介護状態」になることを予防するため、正しい知識を得ることができるようになります。
手段	【まちかど講座】老人クラブ等へ保健師、管理栄養士、歯科衛生士を派遣し、健康講話を実施します。 【のびのび倶楽部】自主化した運動グループへ健康づくりリーダーの派遣や保健師による健康相談をします。 【8020 歯科健康診査・表彰式】80 歳になる方へ 8020 歯科健康診査の個別通知をし、8020 表彰式の周知をします。
事務内容	まちかど講座、のびのび倶楽部 (運動自主グループ)、8020 歯科健康診査・表彰式 (歯科医師会主催・安城市後援事業)

【コスト】

(単位 : 千円)

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	3,528	1,298	2,681
事業費	558	638	1,955
国庫支出金	112	104	251
県支出金	70	65	157
地方債	0	0	0
その他	220	324	1,195
一般財源	156	145	352
人件費計	2,970	660	726
正規 (人)	0.45	0.10	0.11
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	老人クラブ等健康教育 受講者数 1,110 人 自主活動支援団体数 6 団体 8020 達成者数 22 1 人	老人クラブ等健康教育 受講者数 1,337 人 自主活動支援団体数 6 団体 8020 達成者数 26 2 人	老人クラブ等健康教育 受講者数 1,500 人 自主活動支援団体数 6 団体 8020 達成者数 20 0 人

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02650 介護予防普及啓発事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
まちかど講座受講者数	人	5,000.00 1,110.00	3,000.00 1,337.00	3,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市民が負担を懸念することなく利用できる場が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	高齢化の進展、健康寿命を延ばすためニーズは高い状況です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍終息に伴い申し込みが増えつつあります。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	会計年度任用職員を活用するなど費用削減に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも同様に事業を実施し、過不足はありません。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	本市においても超高齢社会に突入し、介護予防事業をさらに継続をして展開することが重要です。高齢福祉課、国保年金課、社協等と連携し、内容、実施回数、コストなどを考慮することが必要です。社会情勢を見ながら、対応を考えていきます

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

5 頁
令和 5 年 8 月 15 日
11 時 26 分 26 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001233030 健康推進課保健指導係

事務事業 02651 母子保健相談支援事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	005	こども			
項目 (施策)	001	1 7 子育て			
施策の方針	002	安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	005	母子保健相談支援事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	結婚・出産・子育て
根拠法令等	母子保健法				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・妊婦相談指導事業 ・育児相談指導事業 ・妊婦交流事業				

【事業分析】

対象	妊産婦、乳幼児の保護者及び支援者が
目的	相談や交流を通じて、妊娠・出産・育児への不安を軽減できるようになります。
手段	【母子健康手帳交付と妊婦指導】保健師が個別対応で交付。マタニティケアプランを作成し、必要な保健指導を実施。【妊産婦相談】妊産婦等からの相談に保健師等が対応。【乳幼児相談・スクスク子育て相談室】保護者等からの相談に保健師等が対応。【産後ケア事業】産科等と連携し産後の母子へサービスを提供。【出産・子育て応援交付金】妊娠届出後「出産準備金」、出生届出後「出産後支援金」を給付
事務内容	母子健康手帳交付と妊婦指導、妊産婦相談、乳幼児相談、スクスク子育て相談室、産後ケア補助金申請事務

【コスト】

(単位 : 千円)

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	47,193	208,093	197,122
事業費	8,319	182,155	167,686
国庫支出金	529	132,535	1,106
県支出金	71	30,551	135,537
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,719	19,069	31,043
人件費計	38,874	25,938	29,436
正規 (人)	5.89	3.93	4.46
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	1,628 件 妊産婦相談 3,061 件 乳幼児相談 1,608 件 スクスク子育て相談室 24 回 / 1,145 人 ここから健康事業 54 枚	妊産婦相談 3,100 件 乳幼児相談 1,978 件 スクスク子育て相談室 24 回 / 1,249 人	妊産婦相談 3,000 件 乳幼児相談 1,700 件 スクスク子育て相談室 24 回 / 1,000 人

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02651 母子保健相談支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
妊娠 1 1 週までの届出率（95%以上維持）	%	95.00	95.00	95.00
		96.70	96.50	0.00
乳幼児相談の相談件数	件	1,800.00	1,800.00	1,800.00
		1,608.00	1,978.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	妊娠中からの切れ目ない支援を行えるのは市のみです。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	少子化、孤立化によりニーズは高まっています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回る進捗です。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	母子保健コーディネーターと相談し効率的に関わりができています			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも力を入れている事業であり過不足はありません。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<p>伴走型相談支援と出産・子育て応援交付金による経済的支援を一体的に実施します。母子健康手帳交付及び妊婦指導は、妊婦の個々の状況に応じた相談体制がとれるよう、保健師などの専門職が個別に対応していきます。また、妊娠中にマタニティケアプランを2回作成し、妊娠中の不安軽減に努めていきます。</p> <p>産後の不安に早期に対応できるよう、「おめでとう電話」を実施し「赤ちゃん訪問」では育児に関する相談や市の母子保健サービスを紹介します。「産後ケア事業」では利用者の利便性を高めることができるよう引き継ぎ支援を継続します。</p>

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

7頁
令和 5年 8月15日
11時26分26秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233030 健康推進課保健指導係

事務事業 02652 母子健康教育事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目(施策)	001	17子育て			
施策の方針	002	安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	006	母子健康教育事業			
事業期間	昭和63年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	結婚・出産・子育て
根拠法令等	母子保健法				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・パパママ教室事業 ・母子食育推進事業 ・思春期保健事業				

【事業分析】

対象	【妊婦】妊婦と夫及び支援者が 【乳幼児】乳幼児の保護者及び支援者が 【思春期】幼児、小・中・高校生及びその保護者が
目的	【妊婦】妊娠、出産、育児の正しい知識を得て、不安が軽減できるようになります。 【乳幼児】食生活に関心を持ち、正しい知識を身につける機会を得ることができるようになります。 【思春期】思春期保健の知識を得て、悩みや不安が軽減できるようになります。
手段	【妊婦】妊娠、出産、育児に関する知識が学べる教室を開催します。 【乳幼児】育児や離乳食の知識が学べる場を提供します。学校、幼稚園の栄養教諭及び栄養士と栄養連絡会議を開催します。 【思春期】学校等と協力して思春期保健教育を行います。思春期保健相談の場を提供します。
事務内容	【妊婦】パパママ教室べんきょう編、えいよう編 【乳幼児】離乳食講習会(ゴックン教室・カミカミ教室)、まちかど講座、栄養連絡会議 【思春期】小中学校での健康教育、学齢期歯科健康教育、思春期保健相談ルーム、性教育用物品の貸し出し

【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	6,466	5,290	6,923
事業費	2,968	2,518	3,491
国庫支出金	0	0	0
県支出金	373	200	429
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,595	2,318	3,062
人件費計	3,498	2,772	3,432
正規(人)	0.53	0.42	0.52
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	【妊婦】パパママ教室 べんきょう編13回・ えいよう編10回 【乳児】離乳食講習会 (ゴックン52回・カ ミカミ教室52回) 【思春期】健康教育3 0回、保健相談週1回	【妊婦】パパママ教室 べんきょう編15回・ えいよう編11回 【乳児】離乳食講習会 (ゴックン50回・カ ミカミ教室46回) 【思春期】健康教育2 8回、保健相談隔週1 回	【妊婦】パパママ教室 べんきょう編15回・ えいよう編11回 【乳児】離乳食講習会 (ゴックン24回・カ ミカミ教室24回) 【思春期】健康教育3 0回、メールにて随時

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02652 母子健康教育事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
夫婦でのパパママ教室参加率（90%以上）	%	90.00	90.00	90.00
		94.00	96.00	0.00
ゴックン教室の参加率	%	20.50	24.20	0.00
		24.20	29.00	0.00
講師派遣及び物品貸し出し件数	件	29.00	30.00	30.00
		30.00	39.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	病院等での実施が不十分のため参加できる場の提供が必要です		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	実施回数を増やして対応しています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	参加者数、満足度ともに高い状況です		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	感染症拡大防止のため、1回の対象者数を減らしました		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも同様の事業を実施しており、過不足はありません		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	行政が公正な立場で教室等を実施することにより、正しい知識を伝え、安心安全な子育てや生活が送れるよう支援していく必要があります。夫婦での受講が望ましい内容を取り入れ、内容を充実していきます。今後も感染症対策を徹底して事業を継続実施し、参加者・利用者の確保に努めます。また、地域で健康づくり活動をしている団体等と協力しながら、子育てしやすい環境づくりを進めていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

9頁
令和 5年 8月15日
11時26分26秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001233030 健康推進課保健指導係

事務事業 02653 赤ちゃん訪問事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目(施策)	001	17子育て			
施策の方針	002	安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	007	赤ちゃん訪問事業			
事業期間	平成21年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	結婚・出産・子育て
根拠法令等	母子保健法、児童福祉法、子ども子育て支援法				
備考					

【事業分析】

対象	妊婦、産婦、乳幼児及びその養育者が
目的	子育てに関する助言や情報を得たり、育児不安が軽減できるようになります。
手段	【赤ちゃん訪問】保健師や赤ちゃん訪問員が生後4か月を迎えるまでの乳児を養育する全家庭を訪問し、育児不安の軽減を図ります。【その他の訪問】母子健康手帳交付、赤ちゃん訪問(未熟児訪問、新生児訪問含む)、乳幼児健診等から保健指導が必要と認められた場合に保健師による訪問指導を行います。また、産後の不安の高い時期等に、助産師による訪問を行い、産婦の心身の健康管理や育児に関する助言指導をします。
事務内容	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは 赤ちゃん訪問)、養育支援訪問事業、妊産婦・乳幼児等訪問指導、新生児訪問指導、未熟児訪問指導、助産師訪問事業 ケース対応会議、補助金申請事務、委託契約事務、カンファレンス等

【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	22,790	17,855	20,848
事業費	10,910	10,397	12,730
国庫支出金	3,576	4,102	4,058
県支出金	3,414	2,776	4,058
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,920	3,519	4,614
人件費計	11,880	7,458	8,118
正規(人)	1.80	1.13	1.23
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	赤ちゃん訪問1,514人 低体重児届出96.4% 未熟児訪問19人 助産師訪問47件	赤ちゃん訪問1,500人 低体重児届出95.2% 未熟児訪問19人 助産師訪問33件	赤ちゃん訪問1,500人 低体重児届出95.0% 未熟児訪問30人 助産師訪問40件

事務事業評価シート (2 / 2)

10 頁
令和 5年 8月15日
11時26分26秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02653 赤ちゃん訪問事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
赤ちゃん訪問実施率	%	100.00 99.30	100.00 99.70	100.00 0.00
低体重児届出率 (90%以上維持)	%	95.00 96.40	95.00 95.20	95.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	母子保健法、児童福祉法等で市町村業務と定められています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	少子化、孤立化等からニーズは高い状況です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	ほぼ目標は達成できています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	出産後支援金の申請等と連携ができています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも実施されており、過不足はありません。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	赤ちゃん訪問は、子どもの健やかな成長を、全家庭において直接支援できる事業です。子育てを始める不安の強い出産後早期の支援は、とても重要と考えます。安城市では看護師等の専門職が担っており、市民のニーズに対応していると考えます。今後も実施率を維持しながら、継続実施していく必要があります。出産施設との連携を大切に、妊娠期からの切れ目ない支援を行うために、訪問指導を継続して実施していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。